

平成30年度

京都教育大学大学院教育学研究科
現職教員科目等履修生出願要項

平成30年度 京都教育大学大学院教育学研究科 現職教員科目等履修生出願要項

1. 趣 旨

大学院教育学研究科で開設している特定の授業科目について、本学学生の履修に支障をきたさない範囲において、本学学生以外の方が履修希望する授業科目の履修を許可し単位を認定するものです。

2. 出 願 資 格

幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教諭、助教諭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び講師で次のいずれかに該当する者

(1) 大学を卒業した者

(2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(5) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校、幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者など

3. 出 願 期 間

出願・履修申請は郵送（簡易書留郵便）による出願に限ります。

○前 期（前期科目と併せ、後期科目も履修申請できます）

平成30年3月7日（水）から3月14日（水）までに到着のこと。

ただし、期限後に到着した場合でも、3月13日（火）以前の発信局消印のある場合に限り有効とします。

○後 期

平成30年8月20日（月）から8月27日（月）までに到着のこと。

ただし、期限後に到着した場合でも、8月26日（日）以前の発信局消印のある場合に限り有効とします。

4. 出願できる単位数

出願できる単位数は、6か月の場合は2科目4単位、1年間の場合は4科目8単位以内です。

5. 出願時に提出する書類等

【新規出願の場合】

提出書類等	様式	摘要
入学志願書	別紙様式2	任命権者の派遣・推薦を得て出願する場合は、「派遣・推薦書」欄に押印が必要です。
履修申請書	別紙様式3	前期出願時に後期科目も併せて履修申請することができます。 「承諾書」欄に所属長の承諾印が必要です。
健康診断書	別紙様式A	① 医療機関（保健所、各大学の保健管理センター含）の医師が作成したもの、又は、勤務先で受検した健康診断の結果通知書（所属長の原本証明が必要） ② 診断日（エックス線撮影日含む）が、前期出願の場合は前年の4月1日以降、後期出願の場合は前年の10月1日以降のものに限ります。
検定料の「振替払込請求書兼受領証」	郵便局備え付けのもの (5ページ参照)	① 郵便局備付けの払込用紙に必要事項を記入し、検定料9,800円を払込み、受け取った「振替払込請求書兼受領証」のコピーを出願書類とともに提出してください。 (払込手数料は出願者負担) ② 下記のいずれかに該当する場合は検定料を納める必要はありません。 イ. 京都府教育委員会又は京都府下の市町村教育委員会の派遣又は推薦を受けた者 ロ. 京都市教育委員会の派遣又は推薦を受けた者 ハ. 上記以外の者で任命権者の派遣又は推薦を受けた者
教育職員免許状（又は教育職員免許状授与証明書）のコピー【該当者のみ】		1ページ「2. 出願資格（6）」に該当し、最終出身学校が短期大学の場合は、1種又は専修免許状（又は免許状授与証明書）のコピー

【継続出願の場合】

提出書類等	様式	摘要
履修申請書	別紙様式3	前期出願時に後期科目も併せて履修申請することができます。 「承諾書」欄に所属長の承諾印が必要です。
健康診断書	別紙様式A	① 医療機関（保健所、各大学の保健管理センター含）の医師が作成したもの、又は、勤務先で受検した健康診断の結果通知書（所属長の原本証明が必要） ② 診断日（エックス線撮影日含む）が、前期出願の場合は前年の4月1日以降、後期出願の場合は前年の10月1日以降のものに限ります。 ③ 前回出願時に提出した健康診断書の診断日（エックス線撮影日含む）が、②の要件を満たしている場合は提出不要です。

6. 選考及び選考結果の通知

- (1)選考は、書類審査により行います。
- (2)前期は平成30年3月末に郵送にて通知します。
後期は平成30年9月下旬に郵送にて通知します。
電話による照会には応じません。
- (3)選考結果通知が届くまでに授業が始まる授業科目については、通知が届くまでの間は仮受講していただくこととなりますので、第1回目の授業から受講してください。

7. 入学辞退及び履修辞退について

- (1)入学を辞退される場合は、入学料及び授業料を払込まずに、下記期限までに教務・入試課へ連絡してください。

【入学辞退 届出期限】

- ①通年及び前期：平成30年 4月18日(水) 17:00
- ②後 期：平成30年10月12日(金) 17:00

- (2)一部の科目を履修辞退される場合は、授業料を全額払込んだうえで、必ず下記期限までに履修辞退届(別紙様式B)を提出してください。

【履修辞退 届出期限】

- ①通年及び前期授業科目：平成30年 4月18日(水) (必着)
- ②後 期 授 業 科 目：平成30年10月12日(金) (必着)
- ③集 中 講 義 科 目：開講日前日(土日祝日は除く) (必着)

8. 入学時期及び在学期間

- 入学時期は、前期(4月)又は後期(10月)の授業開始日とし、**継続履修期間は2年間**となります。

9. 検定料、入学料及び授業料

- (1)検定料 **9,800円**(注)(郵便局から払込んでください。)
- (2)入学料 **28,200円**(注)(請求書送付後、所定の期日までに払込んでください。)

(注)ただし、次のいずれかに該当する場合は、検定料・入学料を納める必要はありません。

- ①京都府教育委員会又は京都府下の市町村教育委員会の派遣又は推薦を受けた者
- ②京都市教育委員会の派遣又は推薦を受けた者
- ③上記以外の者で任命権者の派遣又は推薦を受けた者

- (3)授業料 **1単位につき14,800円**(請求書送付後、所定の期日までに払込んでください。)

一部辞退科目が生じた場合も、一旦全額払込んでいただきます。〔上記7. 入学辞退及び履修辞退について、及び下記(5)参照〕

- (4)入学料・授業料の納入期限

- ①3月出願科目：平成30年 4月18日(水)

※後期科目の履修も許可された場合は、後期科目の授業料を含んだ額を一括して納入してください。

- ②8月出願科目：平成30年10月12日(金)

上記期限までに入金されなかった場合は、入学及び履修を辞退したものと取り扱います。

(5) **既納の検定料、入学料及び授業料は、返還しません。**

※ただし、次の場合に限り、本人の申し出により所定の手続きを経て返還します。

〔検定料〕

- ・出願書類等の不備により出願手続きを完了しなかった場合

〔授業料〕

- ・授業料の払込み手続後、届出期間内に履修辞退の手続をした場合
- ・集中講義の日程決定後、開講日前日（土日祝日は除く）までに履修辞退の手続をした場合
- ・本学の都合により履修許可された授業科目を履修できなくなった場合

〔入学料〕

- ・本学の都合により履修許可された全ての授業科目を履修できなくなった場合

(6) 入学料・授業料は改定する場合があります。

10. その他

(1) **出願受付以降の出願科目の変更・追加はできません。**

また、時間割変更や不開講が生じた場合も、出願科目の変更や追加はできませんのでご了承ください。

(2) 出願書類等に不備があるときは、受理しないことがあります。

(3) 出願時に提出した書類等は返還しません。

(4) 履修した授業科目について試験等を受け、合格した者に対し単位を認定します。

(5) 成績は本人あてに郵送により通知します。電話による照会には応じません。成績通知の時期は次のとおりです。

①前期開講科目：平成30年9月上旬

②後期開講科目及び通年開講科目：平成31年3月上旬

なお、一部の科目については、授業実施日程等の都合上、成績通知が各学期末より遅れる場合があります。

(6) 科目等履修生に対して発行する証明書は次のとおりです。

身分証明書	本学の附属図書館利用証と兼用になります。期末試験を受ける際などに提示を求めます。入学料・授業料納入期限後に、郵送します。
履修証明書	科目等履修生として履修中であることを証明します。履修期間と当該年度に履修登録している授業科目名等を表記します。
履修期間証明書	科目等履修生としての履修期間を証明します。
成績証明書	科目等履修で単位修得した授業科目の成績を証明します。
教育職員免許状申請用の「学力に関する証明書」	科目等履修で修得した免許状申請用単位の修得内容を証明します。教育職員免許状の申請手続は個人申請です。
教育職員免許状単位修得見込証明書	免許法別表第1に規定される免許状取得要件のすべてを本学で満たす場合に限り発行します。

(7) 情報処理センターは授業以外では使用できません。

(8) 通学のための自家用車入構許可証は発行しません。

(9) 通学定期券等購入のための証明書や学割証の発行はできません。

(10) 休講は電子掲示板（大学会館ロビー他）に、その他連絡事項は掲示板（図書館西側）に掲示します。なお、希望者を対象として、休講情報及び一部の授業連絡についてはメール配信を行っています。

※ただし、各種通信機器の設定状況によっては、メールが届かない場合もありますので、必ず学内掲示板を確認してください。

(11)前期・通年科目のみ履修申請した方が後期科目を履修する場合は、必ず後期の出願期間に履修申請の手続きを行ってください。

(12)受講する教室は前期は4月11日(水)、後期は9月28日(金)に掲示板に掲示します。

(13)履修登録までの日程

①前期

出 願 ----- 3月 7日(水)～ 3月14日(水)
↓
選考結果通知発送 ----- 3月30日(金)
↓
入学料・授業料納入 ----- 4月 2日(月)～ 4月18日(水)
履修辞退届出期間 -----

②後期

出 願 ----- 8月20日(月)～ 8月27日(月)
↓
選考結果通知発送 ----- 9月 下旬
↓
入学料・授業料納入 ----- 10月 1日(月)～10月12日(金)
履修辞退届出期間 -----

前期授業開始	4月12日(木)
後期授業開始	10月 1日(月)

◎出願書類などの送付先住所

〒612-8522
京都市伏見区深草藤森町1番地
京都教育大学 教務・入試課教務グループ
☎075-644-8157
電話によるお問い合わせは、平日の以下の時間帯にお願いします。
9:00～12:30、13:30～17:00

◎検定料払込用紙への記入内容

記 入 欄	記 入 す る 内 容
口座記号番号	00960-6-167630
加入者名	国立大学法人 京都教育大学
通 信 欄	平成30年度 大学院教育学研究科現職教員科目等履修生検定料
ご 依 頼 人	出願者本人の住所、氏名 など

次のいずれかに該当する場合は、検定料を納める必要はありません。

- ①京都府教育委員会又は京都府下の市町村教育委員会の派遣又は推薦を受けた者
- ②京都市教育委員会の派遣又は推薦を受けた者
- ③上記以外の者で任命権者の派遣又は推薦を受けた者

平成30年度

京都教育大学大学院教育学研究科 科目等履修生対象授業科目

本学大学院教育学研究科で開講している授業科目のうち、科目履修できる授業科目は、次ページ以降に記載しています。

(不開講の科目も一部あります。)

授業時間割と授業内容などは、2月下旬以降に教務・入試課窓口及び京都教育大学ホームページ (<http://kyoumu.kyokyo-u.ac.jp/jikanwari/index.html>) で閲覧できます。(授業内容については、順次掲載しますので、2月下旬には未掲載の科目もあります。)

1. 一部の授業科目で履修制限を設けていますので、内容を必ず確認してください。履修条件を設けていない科目でも、履修不許可とする場合があります。
2. 一部の授業科目で専修免許状取得に使用できない科目があります。専修免許状取得目的に科目等履修される場合は事前に教務・入試課へご相談ください。

◎出願を受け付けた科目でも、選考の結果、履修不許可とする場合があります。

開設専修	授業科目名	単位	履修条件等
学校教育	教育哲学特論	2	
学校教育	学校教育実践総論Ⅰ（問いから考える教育学）	2	
学校教育	学校教育実践総論Ⅱ（学級づくりの歴史と現在）	2	
学校教育	教育史特論	2	
学校教育	教育社会学特論	2	
学校教育	学校教育実践総論Ⅲ（平和教育論）	2	
学校教育	社会教育特講	2	
学校教育	学校教育実践総論Ⅳ（人権教育の課題と模索）	2	
学校教育	人権教育特論	2	
学校教育	学校教育実践総論Ⅴ（教育評価について考える）	2	
学校教育	教育課程論特論	2	
学校教育	教育方法学特論	2	
学校教育	教育方法学特講	2	
学校教育	道徳教育特論	2	
学校教育	道徳教育特別演習Ⅰ	2	
学校教育	道徳教育特別演習Ⅱ	2	
学校教育	幼児教育学特論	2	
学校教育	学校教育実践総論ⅩⅢ（幼小接続について考える）	2	
学校教育	幼児教育臨床特論	2	
学校教育	学校教育実践総論ⅩⅥ（保育の専門性について考える）	2	
学校教育	幼児心理学特論	2	
学校教育	学校教育実践総論Ⅶ（子どもと表現について考える）	2	
学校教育	幼児心理学特別演習	2	
学校教育	幼児教育内容特論	2	
学校教育	幼児教育内容特別演習	2	
学校教育	学校教育実践総論Ⅵ（教師の成長について考える）	2	
学校教育	教師教育学特論	2	
学校教育	教師教育学特別演習	2	

開設専修	授業科目名	単位	履修条件等
学校教育	学校教育実践総論ⅩⅡ（人権に基づく性の学習）	2	
学校教育	性教育特論	2	
学校教育	性教育特別演習	2	
学校教育	教育心理学特論Ⅰ	2	
学校教育	教育心理学特別演習Ⅰ	2	
学校教育	教育心理学特論Ⅱ	2	
学校教育	教育心理学特別演習Ⅱ	2	
学校教育	進路指導特論	2	
学校教育	学校教育実践総論Ⅷ（学びと動機づけの理論と実践）	2	
学校教育	学校教育実践総論Ⅸ（学校心理学総論）	2	
学校教育	教育社会心理学特講	2	
学校教育	測定・検査論特講	2	
学校教育	学校カウンセリング特講	2	
学校教育	学校心理学・カウンセリング実習	1	学校心理士資格取得希望者に限る。 履修希望者は、本学担当教員の内諾を得ること。
学校教育	生徒指導・学校教育相談特講	2	
学校教育	発達心理学特論	2	
学校教育	発達心理学特別演習	2	
学校教育	学校教育実践総論Ⅹ（認知発達と教育的支援）	2	
学校教育	情意発達の心理学特講	2	
学校教育	社会性の発達支援特講	2	
学校教育	家族心理学特講	2	
学校教育	学校臨床心理学特講	2	
学校教育	生徒指導特講	2	
学校教育	コミュニティ・アプローチ特論	2	
学校教育	心身医学特論	2	
学校教育	精神医学特論	2	
学校教育	学校教育実践総論ⅩⅠ（学校カウンセリングの理論と実際）	2	
障害児教育	発達障害教育特論	2	

開設専修	授業科目名	単位	履修条件等
障害児教育	発達障害教育方法特論	2	
障害児教育	発達障害心理特論Ⅰ	2	
障害児教育	発達障害心理特論Ⅱ	2	
障害児教育	発達障害生理・病理特論Ⅰ	2	
障害児教育	発達障害生理・病理特論Ⅱ	2	
障害児教育	特別支援教育事例研究	2	
国語教育	国語科教育特論	2	
国語教育	国語科教育特別演習Ⅰ	2	
国語教育	国語科教育特別演習Ⅱ	2	
国語教育	国語科授業研究	2	
国語教育	国語学特論Ⅰ	2	
国語教育	国語学特論Ⅱ	2	
国語教育	国文学特論Ⅰ	2	
国語教育	国文学特論Ⅱ	2	
国語教育	漢文学特論Ⅰ	2	
国語教育	漢文学特論Ⅱ	2	
国語教育	応用言語学特論Ⅰ	2	
国語教育	応用言語学特論Ⅱ	2	
国語教育	国語科教育教科内容論Ⅰ（国語学）	2	
国語教育	国語科教育教科内容論Ⅱ（国語学）	2	
国語教育	国語科教育教科内容論Ⅲ（近現代文学）	2	
国語教育	国語科教育教科内容論Ⅳ（古典文学）	2	
国語教育	国語科教育教科内容論Ⅴ（漢文学）	2	
国語教育	国語科教育教科内容論Ⅵ（応用言語学）	2	
社会科教育	社会科教育特論Ⅰ	2	
社会科教育	社会科教育特論Ⅱ	2	
数学教育	代数学特論Ⅰ	2	
数学教育	代数学特論Ⅱ	2	

開設専修	授業科目名	単位	履修条件等
数学教育	幾何学特論 I	2	
数学教育	幾何学特論 II	2	
数学教育	解析学特論 I	2	
数学教育	解析学特論 II	2	
数学教育	情報数学特論	2	
数学教育	算数・数学科教育教科内容論 I (代数学)	2	
数学教育	算数・数学科教育教科内容論 II (代数学)	2	
数学教育	算数・数学科教育教科内容論 III (幾何学)	2	
数学教育	算数・数学科教育教科内容論 IV (幾何学)	2	
数学教育	算数・数学科教育教科内容論 V (解析学)	2	
数学教育	算数・数学科教育教科内容論 VI (解析学)	2	
数学教育	算数・数学科教育教科内容論 VII (情報数学)	2	
理科教育	理科教育特論 I	2	
理科教育	理科教育特別演習 I	2	
理科教育	理科教育特論 II	2	
理科教育	理科教育特別演習 II	2	
理科教育	物理学特論 II (基礎物理学)	2	
理科教育	物理学特論 III (応用物理学)	2	
理科教育	化学特論 I	2	
理科教育	化学特論 II (生化学)	2	
理科教育	化学特論 III (分析化学)	2	
理科教育	生物学特論 I (動物生態学)	2	
理科教育	生物学特論 II (植物分類学)	2	
理科教育	生物学特論 IV (動物発生学)	2	
理科教育	地学特論 I (地層学)	2	
理科教育	地学特論 II (地震学)	2	
理科教育	理科教育教科内容論 I (物理学)	2	
理科教育	理科教育教科内容論 II (化学)	2	

開設専修	授業科目名	単位	履修条件等
理科教育	理科教育教科内容論Ⅲ（生物学）	2	
理科教育	理科教育教科内容論Ⅳ（地学）	2	
理科教育	理科教育実践特別演習Ⅰ	2	
理科教育	理科教育実践特別演習Ⅱ	2	
音楽教育	音楽科教育特論	2	
音楽教育	音楽科教育特別演習	2	
音楽教育	音楽科教育授業研究	2	
音楽教育	音楽科教育実践演習	2	
音楽教育	器楽特論Ⅰ	2	
音楽教育	器楽特論Ⅱ	2	
音楽教育	器楽特論Ⅲ	2	
音楽教育	器楽特論Ⅳ	2	
音楽教育	声乐特論Ⅰ	2	
音楽教育	声乐特論Ⅱ	2	
音楽教育	作曲特論Ⅰ	2	
音楽教育	作曲特論Ⅱ	2	
音楽教育	指揮法特論Ⅰ	2	
音楽教育	指揮法特論Ⅱ	2	
音楽教育	音楽学特論Ⅰ	2	
音楽教育	音楽学特論Ⅱ	2	
音楽教育	音楽科教育教科内容論Ⅰ（器楽）	2	
音楽教育	音楽科教育教科内容論Ⅱ（声乐）	2	
音楽教育	音楽科教育教科内容論Ⅲ（作曲）	2	
音楽教育	音楽科教育教科内容論Ⅳ（器楽史）	2	
音楽教育	音楽科教育実践特別演習	2	
美術教育	美術科教育特論Ⅰ	2	
美術教育	美術科教育特論Ⅱ	2	
美術教育	美術科授業特別研究	2	

開設専修	授業科目名	単位	履修条件等
美術教育	書道特論	2	当該免許状を保有のこと。
美術教育	美術科教育教科内容論Ⅰ（絵画）	2	
美術教育	美術科教育教科内容論Ⅲ（彫刻）	2	
美術教育	美術科教育教科内容論Ⅴ（工芸）	2	当該免許状を保有のこと。
美術教育	美術科教育教科内容論Ⅵ（デザイン）	2	
美術教育	美術科教育教科内容論Ⅶ（美術史・美術理論）	2	
美術教育	書道教育教科内容論（書道・書写）	2	
美術教育	美術科教育実践特別演習	2	
保健体育	保健体育科教育特論Ⅰ	2	
保健体育	保健体育科教育特別演習Ⅰ	2	
保健体育	保健体育科教育特別演習Ⅱ	2	
保健体育	保健体育科教育特論Ⅲ	2	
保健体育	保健体育科教育特別演習Ⅲ	2	
保健体育	体育学特論	2	
保健体育	体育経営管理学特論	2	
保健体育	野外教育学特論	2	
保健体育	体力科学特論	2	
保健体育	武道方法特論	2	
保健体育	学校保健特論Ⅰ	2	
保健体育	学校保健特論Ⅱ	2	
保健体育	保健体育科教育実践特別演習	2	
技術教育	技術科教育特別演習Ⅰ	2	
技術教育	技術科教育特別演習Ⅱ	2	「技術科教育特論Ⅱ」の単位を修得しておくこと。
技術教育	機械工学特論	2	
技術教育	情報学特論Ⅰ	2	
技術教育	情報学特論Ⅱ	2	
技術教育	技術科教育教科内容論Ⅰ	2	
技術教育	技術科教育教科内容論Ⅱ	2	

開設専修	授業科目名	単位	履修条件等
技術教育	技術科教育実践特別演習	2	
家政教育	家庭科教育特論Ⅰ	2	
家政教育	家庭科教育特別演習Ⅰ	2	
家政教育	家庭科教育特論Ⅱ	2	
家政教育	被服学特論	2	
家政教育	食物学特論	2	
家政教育	住居学特論	2	
家政教育	家庭経営学特論	2	
家政教育	生活工学特論	2	
家政教育	家庭科教育実践特別演習Ⅰ	2	
家政教育	家庭科教育実践特別演習Ⅱ	2	
英語教育	英語科教育特別演習Ⅰ	2	
英語教育	英語科教育特別演習Ⅱ	2	
英語教育	英語科教育特論Ⅲ	2	
英語教育	英語科教育特別演習Ⅲ	2	
英語教育	英語科教育特論Ⅳ	2	
英語教育	英語科教育特別演習Ⅳ	2	
英語教育	英語科教育実践特別演習	2	

出 願 書 類

- | | |
|---|------------------|
| 1. 大学院教育学研究科科目等履修生
入学志願書・履修申請書及び履歴書・承諾書（8月出願用） | 様式1-1 |
| 2. 大学院教育学研究科科目等履修生
入学志願書・履修申請書及び履歴書・承諾書（8月出願用） | 様式1-2 |
| 3. 大学院教育学研究科科目等履修生 入学志願書（現職教員用） | 様式2 |
| 4. 大学院教育学研究科科目等履修生 履修申請書（現職教員3月申請用） | 様式3-1 |
| 5. 大学院教育学研究科科目等履修生 履修申請書（現職教員8月申請用） | 様式3-2 |
| 6. 健康診断書 | 様式A |
| 7. 履修辞退届 | 様式B |
| 8. 振替払込用紙（郵便局） | |

【 提出書類に関する留意事項 】

1. 記入はボールペン又はインクにより楷書で記入してください。
2. 勤務先を有する方又は大学等に在学している方は、勤務先の所属長又は学部長（研究科長）の承諾を受け、「履歴書」（現職教員の方は「履修申請書」）承諾書欄に必ず記入・押印を受けてください。
3. 類似した名称の授業科目がありますので、履修申請科目名・クラスを正確に記入してください。

◎現職教員の方へ

- 「教育職の職歴」欄が不足する場合は、最初と最近の職歴を記入してください。
- 任命権者等の派遣又は推薦を受けている方は、「任命権者等の派遣・推薦書」の欄に必ず記入及び押印を受けてください。
 - ①京都府教育委員会又は京都府下の市町村教育委員会の派遣又は推薦を受けた者
 - ②京都市教育委員会の派遣又は推薦を受けた者
 - ③上記以外の者で任命権者の派遣又は推薦を受けた者

平成 30 年度 大学院教育学研究科科目等履修生（現職教員） 入学志願書

学籍番号（記入不要）					年	月	日	
フリガナ							身分証明証用 写真貼付欄 正面・上半身 脱帽・無背景 タテ 3 cm × ヨコ 3 cm	
氏 名								
生年月日	年	月	日	性 別	男 ・ 女			
履修目的								
現に所有している 教育職員免許状	学校教諭 種・級・専修（教科又は領域： ）							
	学校教諭 種・級・専修（教科又は領域： ）							
	学校教諭 種・級・専修（教科又は領域： ）							
最終学校	大学院・大学・短期大学 課程・学科			研究科・学部 専攻 年 月（卒業・修了） （最終学校が短期大学の方は、1種免又は専修免の教育職員免許状のコピーを添付してください。）				
教育職 の 職 歴	勤 務 校 名			在 職 期 間				
				年	月	～	年	月
				年	月	～	年	月
				年	月	～	年	月
			年	月	～	現在		
出願時点で該当するものに○を付してください。 教諭・助教諭・主幹教諭・養護教諭・養護助教諭・栄養教諭・講師								

任命権者等の派遣・推薦書 （任命権者等の派遣・推薦を得ていない方は、検定料・入学料の徴収対象となります。）

上記の者を、京都教育大学大学院教育学研究科科目等履修生として、（派遣・推薦）します。

平成 年 月 日

任命権者等職名・氏名 _____



平成30年度 大学院教育学研究科科目等履修生(現職教員) 履修申請書

学籍番号	※新規入学生 記入不要	年	月	日
フリガナ					
氏名					
現住所	〒 -				
	電話番号	-	-	携帯電話番号	- -
	メールアドレス (休講情報等連絡通知配信用。希望者のみ記入)				
勤務校	学校名	立 校(園)			
	所在地	〒 -			
	電話				

所属長の承諾書 新規出願・継続出願ともに、出願毎に所属長の承諾が必要です。

上記の者が、京都教育大学大学院教育学研究科科目等履修生として、出願することを承諾します。

平成 年 月 日

所属長職名・氏名 _____ 印

履修申請科目等

授業科目名(クラス名)	開講期	単位数	曜日・時限	担当教員名
	前期・通年・後期		・	
	前期・通年・後期		・	
	前期・通年・後期		・	
	前期・通年・後期		・	
	前期・通年・後期		・	
合 計 () 科目 () 単位				

(以下教務・入試課記入欄)

- 履修期間確認 期間確認 (年 月 入学) 新規入学生 → 入学志願書
- 検定料納入 納入済 納入不要 (継続、 規程第15条)
- 履修科目確認 科目単位数
 出願不許可科目無し
- 添付書等確認 健康診断書 → 不要 (前回提出診断日 前年度4/1以降)
 教育職員免許状 (写し) 不要 → 必要 (最終学校: 短期大学)

平成30年度 大学院教育学研究科科目等履修生 (現職教員) 履修申請書

学籍番号	※新規入学生 記入不要	年	月	日
フリガナ					
氏名					
現住所	〒 -				
	電話番号	-	-	携帯電話番号	-
	メールアドレス (休講情報等連絡通知配信用。希望者のみ記入)				
勤務校	学校名	立 校 (園)			
	所在地	〒 -			
	電話				

所属長の承諾書 新規出願・継続出願ともに、出願毎に所属長の承諾が必要です。

上記の者が、京都教育大学大学院教育学研究科科目等履修生として、出願することを承諾します。

平成 年 月 日

所属長職名・氏名 _____ 印

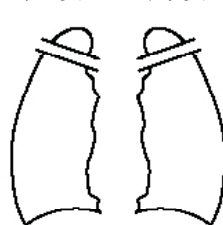
履修申請科目等

授業科目名 (クラス名)	開講期	単位数	曜日・時限	担当教員名
	後期		・	
	後期		・	
	後期		・	
	後期		・	
	後期		・	
合 計 () 科目 () 単位				

(以下教務・入試課記入欄)

- 履修期間確認 期間確認 (年 月入学) 新規入学生 → 入学志願書
- 検定料納入 納入済 納入不要 (継続、 規程第15条)
- 履修科目確認 科目単位数 (3月出願単位数確認 科目 単位)
- 出願不許可科目無し
- 添付書等確認 健康診断書 → 不要 (前回提出診断日 前年度 10/1 以降)
- 教育職員免許状 (写し) 不要 → 必要 (最終学校: 短期大学)

健康診断書

フリガナ 氏名 生年月日	() 昭和 平成 年 月 日生	男・女
現住所	〒 電話 () -	
診 断 事 項		
身長	cm	体重 kg
視力	右 左	その他の 疾病及び 異常
エックス 線検査	エックス線像 直接 間接 	
	撮影番号 撮影年月日 年 月 日	診断医 所見
	所見	健康・要観察・要治療
<p>診断の結果上記のとおり相違ないことを証明する。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>医療機関所在地</p> <p>医療機関名</p> <p>医師氏名</p> <p style="text-align: right;">⑩</p>		

記入上の注意

1. 太枠内は、志願者が記入すること。
2. 視力欄は、両眼の裸眼視力が0.7未満の者については、矯正視力を必ず記入すること。
3. その他の疾病及び異常の欄については、内科的疾患、運動障害及び精神障害で治療を要すると認められるもの、又は教育上、保健指導上必要と認められるもの並びに主な既往症及び罹患時の年齢を記入すること。
4. 検査方法等は、学校保健安全法施行規則の定めるところによること。
5. 各項目とも、漏れなく記入すること。

平成 年 月 日

京都教育大学長 殿

氏名 _____ 印

履 修 辞 退 届

履修許可された下記授業科目について、辞退します。
ついては、下記振込先への授業料返還を申し出ます。

記

辞退授業科目名	担当教員名	単位数	曜日	時限

合計 科目 単位

辞退理由

.....

.....

.....

振込先口座情報

学籍番号	
氏名	
返還金額	
振込先	信用金庫 銀行 支店
預金種別	普通 ・ 当座
口座番号	
(ふりがな) 口座名義	